

ふじのくに芸術祭2023高校生短歌・俳句・川柳コンクール審査結果
【短歌の部】

	賞	作 品	学校名	学年	姓
1	最優秀賞	青空に高く上がった白球はフェンスを越えて夢を叶えた	県立島田高等学校	1	藤原
2	優秀賞	数学の嫌われ者の点Pをこっそりあなたのイニシャルに変え	常葉大学付属橋高等学校	3	増田
3		通学路日陰を探す日が来ると大会曲が鼻歌になる	県立浜松西高等学校	2	岩崎
4	優良賞	白い雲早送りのように流れていく振り返ったらもう高三だ	県立浜松南高等学校	3	望月
5		ペンにぎり自分への投資十二時間右手で創る三月の笑顔	県立浜松南高等学校	3	内山
6		ボールペン青より黒より赤インク最初になくなる努力の証	県立島田高等学校	1	杉本
7	入	朝になりいろんな気持ち芽生えだすこの繰り返し悪くないかも	県立島田高等学校	1	小川
8		放課後に汗にじみだす通学路夏のシンボル風光る空	県立島田高等学校	1	工藤
9		もう五時か友達集まる駐輪場高校生だしまだ話そうぜ	県立島田高等学校	1	従野
10		あと二分電車の発車を待つ朝に並ぶ黄色いスタートライン	県立島田高等学校	1	松永
11		夏の朝ペダルを踏んで学校へマグマのような地獄の暑さ	県立島田高等学校	1	渋谷
12		ペダルこぐ青空仰ぎ息を吸う半袖制服風かけぬける	県立島田高等学校	1	河合
13		雨上がり空に架かった七色が地面を照らし輝いていた	県立島田高等学校	1	岩谷
14		笑顔咲く脳に響くシャッター音青の一コマ思い出となる	県立島田高等学校	1	西村
15		右にゆれ左にゆられ考える朝日をのせた電車の中で	県立島田高等学校	1	鳴嶋
16		下校中きれいな空の写真撮る離れていても空でつながる	県立島田高等学校	1	大塚
17		剥がしたい顔に貼りつくウソの仮面大丈夫だよって言いたくないのに	県立島田高等学校	1	両田
18		面を取り急いで向かう水筒のいっぱいのお茶ももうなくなりそう	県立島田高等学校	1	鈴木
19		スイカ割り狙い定めて命中だ仲間の声を信じる心	県立島田高等学校	1	小杉
20		暑い夏道に落ちてた抜け殻と木にはりついた蟬達の歌	誠恵高等学校	1	小笠原
21		脳内でリピート再生セミの声真っ白のまま原稿用紙	県立浜松南高等学校	3	渥美
22		初めてのサッカーのない夏休み対戦相手は自分自身だ	県立浜松南高等学校	3	鈴木
23		かきごおり時が過ぎれば水の中かつての記憶は風の中なり	県立浜松南高等学校	3	山下
24		ふと見ても君はスマホとにらめっこ画面の向こうに僕は行けずに	県立浜松南高等学校	3	中西
25		空見上げ上げる両手浴びる水明日も笑え向日葵の花	県立静岡農業高等学校	3	滝戸
26		木々の絵にパレットの上は緑いろ秋の始まり茶色を足そう	県立静岡農業高等学校	3	本多
27		コロナ禍の日々を過ごした私たち身に付けたものその名は「我慢」	県立静岡農業高等学校	3	横山
28		見上げればあの日と同じで今日も晴れ修学旅行の原爆ドーム	浜松市立高等学校	3	井出
29		ガラス玉夏の青空閉じ込めば何にでもなれるそんな気がした	浜松市立高等学校	3	村上
30		約束もないのに君を待っている淡い夜空の花火散るまで	県立清水東高等学校	3	望月
31		果てしなく広がる紺碧見上げれば羽ばたいてゆけるような気がした	加藤学園高等学校	2	前田
32		夜六時仕事疲れと予想して母より先に立つ台所	加藤学園高等学校	2	杉山
33		夏の海さしべから見る青き水心のように深さわからず	県立浜松商業高等学校	2	大石
34		思い出は夜空を焦がす花火より足元照らす練香花火	県立浜松湖北高等学校	3	石原
35		五月雨の季節に今は文化祭山の校舎に流れる雨水	県立浜松湖北高等学校	3	大石
36		宿題が終わってないとLINEした零時零分今から本気	県立浜松湖北高等学校	1	市川
37		あの時に君と話せたそれだけで自分の居場所分かる気がした	県立浜松湖北高等学校	2	西尾
38		水泳が終わったあとの教室のみんなの寝息塩素の匂い	県立浜松湖北高等学校	2	若林
39		体育館キュッキュッキュと走る音みんなの頑張り鳴り響いてる	県立浜松湖北高等学校	2	友田
40		暑い日の話し相手は扇風機何を聞いても首横に振る	県立浜松湖北高等学校	2	鈴木
41	形から入るタイプと言っていた二度と鳴らない友人のギター	県立浜松湖北高等学校	2	海老塚	
42	しゅわしゅわと空に弾けるその笑顔君に似ているクリームソーダ	桐陽高等学校	2	芹澤	
43	梅雨前に祖母の植えた胡瓜苗母と一緒に幸せを摘む	桐陽高等学校	2	古家	
44	一点差涙を飲んだ決勝戦濡れる青空には雲ひとつない	桐陽高等学校	2	野村	
45	雨上がり夕焼けの空見上げれば絵に描いたような虹の架け橋	桐陽高等学校	1	堀内	
46	海渡り言語と文化学んだらCAの夢へ走る滑走路	桐陽高等学校	2	高橋	
47	暑き夏汗が流れる床の上ポッチャの魅力知れたよるこび	県立中央特別支援学校高等部	3	大石	
48	ヒグラシが暗い森で鳴く頃に赤い夕日は静かに沈む	県立天竜特別支援学校高等部	3	奈良	
49	真夜中の銀色アンテナ探してる電波の向こうのあしたの声	県立清水東高等学校	2	杉本	
50	汗じみたシャツ脱ぎ捨てて風呂の中石けんの香と片手のギブス	県立磐田南高等学校校定時制	4	磯部	